

第25回総会誌

徳島玉翠会



「高松高等学校書道部」

2018年(平成30年)度版

2018. 6. 23(土)開催

目次

表紙題字：山下 俊文

表紙写真：河野 竹克

ごあいさつ [徳島玉翠会会長] 長尾 哲見	0 2
ごあいさつ [玉翠会会長] 榎田 實	0 3
第25回 徳島玉翠会総会案内・会次第	0 4
特別講演の紹介 [徳島県立中央病院臨床腫瘍科部長] 寺嶋 吉保	0 5
2017年度会計報告	0 6
主な活動報告、徳島玉翠会役員・事務局関係者名簿	0 7
2018年度各玉翠会総会・懇親会のご案内	0 7
第24回徳島玉翠会総会の集合写真	0 8
第24回徳島玉翠会総会・懇親会の報告	
[徳島玉翠会副会長兼事務局長] 坂口 英則	0 8
玉翠会本部・各玉翠会・高松高等学校寄稿	
とんとんとんからりと隣組 [玉翠会副会長] 佐藤 哲也	1 0
徳島玉翠会総会に参加して [高松高等学校教諭] 川田 倫寛	1 1
徳島玉翠会総会に寄せて [東海玉翠会事務局長] 菅野 正朗	1 2
遅咲きの徳島市体験 [関西玉翠会常任幹事] 國友 美信	1 3
もう一つの視点で観てみると [徳島玉翠会幹事] 中原 大道	1 4
はじめまして [徳島玉翠会員] 宮城 麻友	1 6
表紙写真への寄稿	
書道部の活動報告 [高松高等学校書道部顧問] 山下 俊文	1 7
2017年度各玉翠会総会・懇親会の報告	
東京玉翠会 [徳島玉翠会会長] 長尾 哲見	1 8
関西玉翠会 [徳島玉翠会副会長] 坂口 英則	1 9
岡山玉翠会 [徳島玉翠会幹事] 岡澤 恵美子	2 0
東海玉翠会 [徳島玉翠会副会長] 坂口 英則	2 1
徳島玉翠会会則	2 2
2017年度会費納入者	2 3
編集後記 [徳島玉翠会事務局編集担当] 邊見 千香	2 4



賛助広告ご芳名

旭鉱石株式会社

いしたに耳鼻咽喉科クリニック

技術士事務所・環境デザイン研究所

北條病院

医療法人医生活 宮内クリニック

株式会社アルファード

いのもと眼科・内科

小竹興業株式会社

丸浦工業株式会社

(五十音順)

ごあいさつ

徳島玉翠会会長 長尾 哲見（昭和44年卒）

今年は昨年から続く大相撲の不祥事や大寒波が襲来して全国的に雪による被害が多発したりする中で平昌冬季オリンピックへの安倍総理の出席問題、北朝鮮の参加問題や日本人選手が過去最多のメダルの獲得と話題が尽きませんでした。



今回の冬季オリンピックでは女子団体パシュートやカーリング団体女子選手の健闘が光りましたが体の小さい日本人選手がメダルを獲得出来たのは一糸乱れぬ連携や意思疎通を図る協議の結果と指摘されています。

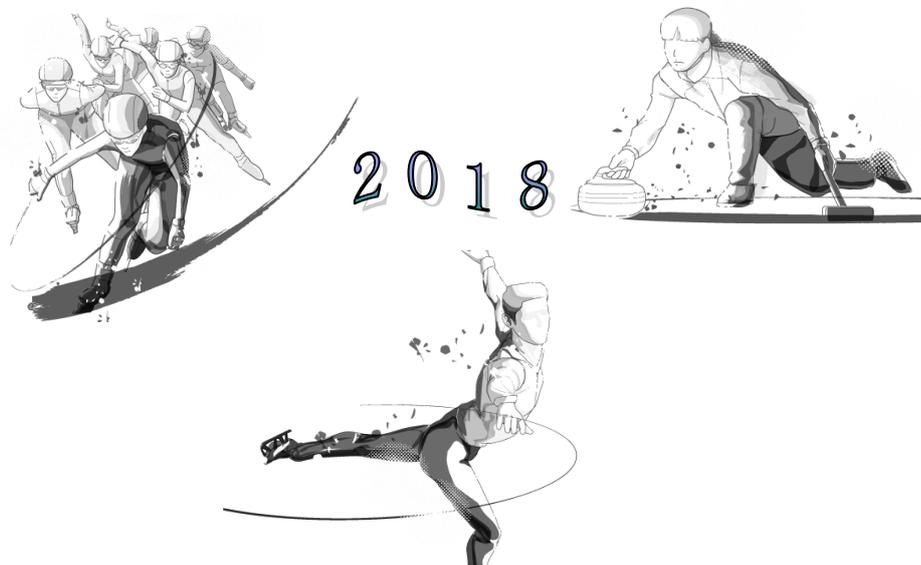
外国人はどちらかと言うと個人の能力主義を発揮するのに対し、日本人は組織的な力の発揮が得意と言われていますがその本領を発揮できたのではないかと思います。さらに日本人はカーリング女子のように全員が北海道北見市の出身で「地域の強い絆」で結ばれた仲間でした。

その意味では、高松高校玉翠会も東京を始め関西、東海、岡山そして徳島と同級生だけでなく「同じ高校の出身」で年齢も職業も違う者が参加している意味も大きいと思います。

私はこの縁や絆を大事にして人生をより良く生きる機会になる事を願っています。

今年の徳島支部の総会にはこれまで参加して頂いた方に加えて新たな参加者が一人でも多く増えて、楽しんで頂けるよう役員一同鋭意準備にあたっています。

最後に今年一年の会員の皆様のご多幸とご健勝を祈念しております。



ごあいさつ

玉翠会会長 榎田 實（昭和42年卒）

徳島玉翠会第25回総会が開催されます事をお慶び申し上げます。

皆様には、玉翠会年会費UP、又、玉翠会ネットワーク設立等に関しまして、ご理解頂きお礼申し上げます。これからの玉翠会のあり方について、真剣に検討して、卒業生の減少という現実を捉えて、何としても全国の玉翠会の存続を計らなければとの思いです。今後、皆様のご協力の程、宜しくお願い致します。



今年も去る3月6日、高松高校「卒業証書授与式」が無事終了致しました。今年度は、全日制課程315名、定時制課程4名、通信制課程39名、卒業生358名で、卒業生累計53,906名となりました。

毎年3月とはいえ、底冷えのする母校の体育館ですが、前日迄は、特に今年寒かった1月を考慮しても、確実に地球温暖化へと進んでいる様に思えましたが、当日、矢張り体育館は例年通りの寒さでした。

まず、1.開式のことば、2.国歌斉唱、に始まり厳粛な中での3.卒業証書授与、4.校長式辞、5.香川県教育委員会挨拶、6.来賓祝辞、7.在校生送辞と続きました。そして、他校からも一度は聞いてみたい観てみたいと評判の、最高のパフォーマンス、そして心に残る、8.卒業生答辞です。今年は男子の「玉木献人」君でした。私も立場上、母校以外の卒業式にも出席しますが、いつも、各校の総代の涙に貰い泣きしそうで壇上で涙を堪えるのに必死の状態になりますが、我母校高松高校のいつから出来た伝統なのか、この答辞は卒業式出席者全員の独特の盛り上がりで、特に各先生方の紹介には思わず拍手したくなる場面がいくつも有りました。

今年度出席しました卒業証書授与式は3校でしたが、卒業生代表は、全て女子学生で、本校は「吉原佳奈」さんでした。頼もしい限りです。

そして、今年も大きな声で校歌を斉唱しました。50年前を思い出したのか、年齢的な事もありますが、胸に熱いものが込み上げ、感極まる思いでした。

最も多感な十代、特に思い出を沢山作った、作って来れた、高校生時代が「走馬灯」の様に流れて行きました。このような機会を作ってくれる母校高松高校に感謝です。

最後となりましたが、「徳島玉翠会」の益々のご隆盛と会員皆様方のご健勝を祈念申し上げます。



平成29年度卒業証書授与式（3月6日）

第25回 徳島玉翠会総会案内

日時：平成30年6月23日(土) 15:00～18:40

会場：ザ グランドパレス

〒770-0831 徳島市寺島本町西 1-60-1

Tel : 088-626-1111 Fax : 088-626-4565

URL: <http://www.gphotel.jp>

Mail: mail@gphotel.jp



式次第

特別講演 (15:00～15:30)

「25分で分かる明るい終活」

～人生の最終段階の医療を考える基礎知識～

徳島県立中央病院 臨床腫瘍科部長

寺嶋 吉保先生 (昭和48年卒)

総会 (15:30～15:50)

一、開会の辞

一、徳島玉翠会会長挨拶 長尾 哲見 (昭和44年卒)

一、総会議事

2017年度(平成29年度)会計報告

2017年度(平成29年度)会計監査報告

2017年度(平成29年度)活動報告

その他

一、来賓紹介・挨拶

一、役員紹介

一、閉会の辞

~~~~~写真撮影(15:50～16:00)~~~~~

懇親会 (16:00～18:40)

一、開会の辞

一、徳島玉翠会会長挨拶 長尾 哲見

一、来賓挨拶

一、乾杯

一、懇親

一、出席者1分間スピーチ

一、クイズ

一、校歌斉唱

一、万歳三唱

一、閉会の辞

## 特別講演の紹介

講演者 てらしま 寺嶋 よしやす 吉保

### 講演者の略歴

昭和 45 年 高松高校へ進学 内海中学卒業（現、小豆島町立小豆島中学）  
昭和 48 年 高松高校卒業 補習科に進学  
昭和 55 年 徳島大学医学部医学科 卒業、徳島大学病院 第一外科へ入局  
徳島県立中央病院、四国中央病院、がん研究会附属病院、  
鳴門病院、室戸中央病院、田岡病院などで勤務  
平成元年 徳島大学病院 第 1 外科（外来医長、医局長、講師など経験）  
平成 16 年 徳島大学大学院 医歯薬研究部 医療教育開発センター准教授  
平成 22 年 徳島県立中央病院 臨床腫瘍科 部長：現職  
（平成 26 年～ 三好病院 がん診療支援センター長・緩和ケア内科：兼務）  
平成 28 年 日本尊厳死協会 四国支部理事 とくしま代表

演題名 「25 分で分かる明るい終活」

～人生の最終段階の医療を考える基礎知識～

### 講演要旨

38 年前に外科医になり、大腸癌の治療を担当しながら、緩和ケアの普及啓発などに取り組み、現在県中・三好病院で緩和ケアを担当しております。この中で、末期癌と分かって慌てる患者さんも多く、事前に準備しておけると良いなあと思い、事前指示書の普及もしてきました。国も本格的に、「人生の最終段階における本人の意思を尊重した医療提供」を唱えております。

最近教えてもらった詩の冒頭に「明日死んでもいいように 百歳まで生きてもいいように」という言葉があります。自分の残された人生が、どうなるかは選べません。できるのは、こういう時はこうして欲しい・欲しくないと希望を述べる事だけです。残りの人生の医学的な概略をご理解いただき、できるだけ希望が尊重されるように、押さえておきたいポイントをお話しします。

### お土産 3 つ

- ① 日本尊厳死協会の事前指示書
- ② 徳島県立病院の事前指示書
- ③ 広島県 ACP：アドバンス・ケア・プランニング（あなたの心積り）



# 2017 年度会計報告

(2017 年 4 月～2018 年 3 月)

| 項目      | 2016年度  | 2017年度  | 増減      | 備考 |
|---------|---------|---------|---------|----|
| 前年度より繰越 | 863,039 | 910,802 | △47,763 |    |

## 収入の部

| 項目      | 2016年度  | 2017年度  | 増減      | 備考  |
|---------|---------|---------|---------|-----|
| 年会費     | 223,000 | 187,000 | ▼36,000 | 81名 |
| 広告収入    | 239,080 | 238,900 | ▼180    | 9件  |
| 総会・懇親会費 | 145,100 | 144,100 | ▼1,000  |     |
| 寄付収入    | 70,000  | 80,000  | △10,000 |     |
| 利子      | 89      | 8       | ▼81     |     |
| 合計      | 677,269 | 650,008 | ▼27,261 |     |

## 支出の部

| 項目     | 2016年度  | 2017年度  | 増減      | 備考                                                  |
|--------|---------|---------|---------|-----------------------------------------------------|
| 通信費    | 90,172  | 46,310  | ▼43,862 |                                                     |
| 事務用消耗品 | 5,744   | 1,360   | ▼4,384  |                                                     |
| 義援金    | 50,000  | 0       | ▼50,000 |                                                     |
| 寄付・祝い金 | 40,000  | 40,000  | 0       |                                                     |
| 交通費援助金 | 16,500  | 35,765  | △19,265 |                                                     |
| 委託費    | 411,252 | 407,116 | ▼4,136  | グランドパレス(総会・懇親会): 193,700<br>松下印刷(徳島玉翠会誌): 208,656 等 |
| 雑費     | 15,838  | 16,735  | △897    |                                                     |
| 支出合計   | 629,506 | 547,286 | ▼82,220 |                                                     |

|        |         |           |
|--------|---------|-----------|
| 次年度繰越金 | 910,802 | 1,013,524 |
|--------|---------|-----------|

徳島玉翠会の2017年度収支決算について、帳簿及び関係諸帳票を  
監査したところ、適正に執行されていることを確認したので報告します。

2018年 4月 9日

監事

寺嶋 吉保

## 主な活動報告

| 年月日        | 内 容                      | 会 場            |
|------------|--------------------------|----------------|
| 2017年5月20日 | 第11回東海玉翠会総会(坂口副会長出席)     | 名鉄グランドホテル      |
| 6月24日      | 第24回徳島玉翠会総会・懇親会          | ザ グランドパレス      |
| 7月08日      | 第35回東京玉翠会総会(長尾会長出席)      | グランドプリンスホテル新高輪 |
| 8月27日      | 第24回徳島玉翠会反省会・暑気払い        | 個室ダイニング「かほう」   |
| 10月21日     | 第24回関西玉翠会総会(坂口副会長出席)     | ザ リッツカールトン大阪   |
| 11月11日     | 第39回岡山玉翠会総会(岡澤幹事出席)      | アークホテル岡山       |
| 12月18日     | 第25回徳玉会役員会・総会準備委員会(第1回)  | ぼんじゅうる(佐古3番町)  |
| 2018年3月28日 | 第25回徳玉会役員会・総会準備委員会(第2回)  | ぼんじゅうる(佐古3番町)  |
| 3月1日～4月10日 | 第25回総会誌編集作業              | 編集担当者自宅        |
| 4月09日      | 2017年度会計監査(中村会計係、寺嶋監事)   | 徳島市内喫茶店        |
| 5月13日      | 第25回総会誌送付作業・総会準備委員会(第3回) | 徳島大学青藍会館小会議室   |

## 徳島玉翠会役員・事務局関係者名簿

### 役員

| 役 職 | 氏 名    | 卒 年   | 役 職      | 氏 名    | 卒 年   |
|-----|--------|-------|----------|--------|-------|
| 会 長 | 長尾 哲見  | 昭和 44 | 副会長兼会計   | 中村 芳正  | 昭和 42 |
| 副会長 | 香川 典子  | 昭和 47 | 副会長兼事務局長 | 坂口 英則  | 昭和 48 |
| 副会長 | 松原 淳   | 昭和 60 | 監 事      | 寺嶋 吉保  | 昭和 48 |
| 幹 事 | 岡澤 恵美子 | 昭和 35 | 幹 事      | 七條 政志  | 昭和 43 |
| 幹 事 | 伊賀 弘起  | 昭和 51 | 幹 事      | 丸浦 世造  | 昭和 51 |
| 幹 事 | 塩見 一義  | 昭和 53 | 幹 事      | 西良 浩一  | 昭和 57 |
| 幹 事 | 加藤 弘道  | 昭和 58 | 幹 事      | 佐々木 園子 | 昭和 58 |
| 幹 事 | 中原 大道  | 平成 6  | 幹 事      | 吉田 守美子 | 平成 7  |
| 幹 事 | 山下 一太  | 平成 8  |          |        |       |

### 事務局

|       |       |       |      |       |       |
|-------|-------|-------|------|-------|-------|
| 事務局長  | 坂口 英則 | 昭和 48 | 会 計  | 中村 芳正 | 昭和 42 |
| 編集担当  | 邊見 千香 | 昭和 49 | 名簿担当 | 坂口 英則 | 昭和 48 |
| 懇親会担当 | 松原 淳  | 昭和 60 | HP担当 | 中原 大道 | 平成 6  |

## 2018年度各玉翠会総会・懇親会のご案内

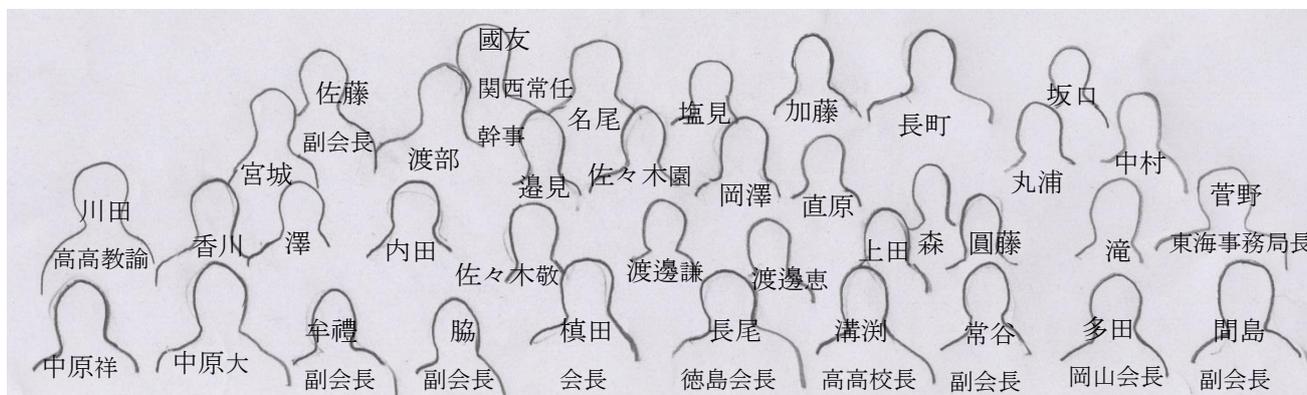
| 玉翠会名  | 事務局長         | 日 時            | 会 場            |
|-------|--------------|----------------|----------------|
| 東海玉翠会 | 菅野 正朗 (50年卒) | 5月19日(土)16:00  | 名鉄グランドホテル      |
| 東京玉翠会 | 土田 充 (53年卒)  | 7月07日(土)16:00  | グランドプリンスホテル新高輪 |
| 関西玉翠会 | 田島 朋子 (49年卒) | 10月20日(土)12:00 | 太閤園            |
| 岡山玉翠会 | 仁木 壯 (46年卒)  | 11月10日(土)15:30 | アークホテル岡山       |

お問い合わせ・ご連絡は 事務局 (連絡先は裏表紙に掲載) まで

## 第24回徳島玉翠会総会の集合写真



第24回 徳島玉翠会 総会・懇親会 平成29年6月24日 於ザグランドパレス



### 第24回徳島玉翠会総会・懇親会の報告

平成29年6月24日土曜日午後3時より、「ザ グランドパレス」において徳島玉翠会第24回総会及び懇親会が開催されました。ご来賓として、玉翠会本部から榎田 實会長、脇 和子副会長、牟禮 明副会長、間島賢治副会長、佐藤哲也副会長、常谷忠克副会長、高松高校からは溝渕祥民校長、川田倫寛教諭、東海玉翠会からは菅野正朗事務局長（初参加）、関西玉翠会からは國友美信常任幹事（初参加）、岡山玉翠会からは多田譲治会長のご列席を賜りました。

さて、本会の呼び物のひとつである特別講演会では、過去例を見ない僧侶の方、それもお夫婦からありがたいお話をいただきました。「もう一つの視点で見ると」と題して、平成6年卒の中原大道氏ご夫妻から「世の中は思いがけないことばかり」ですが、見方を変えると「新しい側面が見えてくる」のが仏教である、というようなことを分かり易く講演いただきました。

その後、恒例の写真撮影に移った訳ですが、今回も写場を使用しての落ち着いた撮影となりました。やはり専用の部屋での撮影なので、普通の方は美しく、美しい方はより美しく撮れたように思います。

懇親会では、長尾会長の挨拶の後、玉翠会会長の榎田様から、徳島玉翠会出席は東海、高松に次ぐ折

り返し点で、今後東京、関西、岡山に全て出席すること、今年5月27日、初の試みとして開催された「中央公園でのオープン・ビアガーデン」では1,140枚のチケットが売れ、886人の参加があったことが報告されました。また、財政難から会費の値上げとネット振込が可能になった事も紹介されました。

溝渕校長先生からは、高松高校は明治26年開校、今年で125年を迎えること、昭和23年の新学制からは70年となる節目の年であるが式典はないこと、生徒の進学に当たっては徳島大学に非常にお世話になっていること（今年10名入学）、昨年のインターハイではヨット部が全国優勝したこと、その指導に当たっていたのが本日出席している川田教諭であることなどが紹介されました。今年の総体でも昨年を上回る生徒が四国大会に出場することや、文化部も全国総合文化祭で活躍していることが紹介されました。

乾杯の後、ご出席をいただいたご来賓の挨拶、恒例の1分間スピーチへと続きました、

ここからは恒例のクイズへと続くはずですが、今年はクイズ担当の松原氏が所用で出席出来ず、役員一同「どうする?」「何にする?」などと悩み抜いた末、ふと思いついたのが「広報阿波（阿波市の広報誌）」で見かけた本日の特別講演者の中原大道氏の記事で、失礼を承知でお願いしたら、快諾していただいた本日の「僧侶パフォーマンス」。

どんなパフォーマンスが飛び出すか、皆様全く想像ができなかったことでしょう。キーボードに合わせたお経や僧侶が着けている袈裟の着方、或いは袈裟の種類などの紹介などで、かつてないイベントとなりました。皆様、非常に興味深くご覧になっておりました。

ここに改めて中原ご夫妻には感謝申し上げる次第であります。

第24回総会の運営に関わった皆様方の奮闘努力によりトラブルもなく、またご出席いただいた会員の方々のご協力により大いに盛り上がった総会・懇親会となりましたこと、心よりお礼を申し上げますとともに次回の総会へのご出席をお願い申し上げ、報告とさせていただきます。

最後に、私事ではありますが、私の中学時代、1学年上の女子バスケ部の憧れの先輩の娘さんが今回出席していただいており、母上から私の事を聞いて声を掛けてくれたことで、何とも言えない感慨にふけた今回の総会でありました。

徳島玉翠会副会長 坂口 英則（昭和48年卒）



## とんとんとんからりと隣組

玉翠会本部寄稿

玉翠会副会長 佐藤 哲也 (昭和54年卒)

いつもお世話になっております。玉翠会の用務員副会長の佐藤です。

徳島より頂いた原稿の依頼文に「今年の『徳玉会』への出席の感想を」・・・とありましたのを、なにげに「トクタマ」と読んでしまい、お好み焼きの「肉玉」とか「もつ玉」とか中に入っている「揚げ玉」とか(そういえば鳴門のお好み焼きには金時豆が入っていますが)を連想して、懐かしくも美味しそうな名前だと・・・まあ、そんなことはどうでもいいんですが、今年もよろしく願いいたします。(笑)

さて、28年度、29年度と続けて徳島玉翠会総会にお邪魔いたしました。私は地酒や温泉やダム紹介のボランティア事業でも四国のお世話見をさせて頂いております。家庭の屋根のテレビのアンテナが一齐に大阪を向いている徳島市での会議というと、どうしても「見た目は四国、頭脳は大阪、味付けに迷ったときにはスタチをかければすべてOK」というとっても偏った先入観(笑)をもっておったのですが、そこはやはりタカコーの会、お酒を酌み交わしていると、アウエー感はまったくなく、むしろ我々よりも、もっと純粋に讃岐人らしさを感じる皆様の集まりでした。おそらく『すぐお隣さんへのお嫁入り』だからこそ『実家』の良さがよくわかっていらっしゃるのではないかと思います。特急うずしおでちょいと1時間、高速道路でもインターは8つめです。どうぞこれからもお隣同士、なにかにつけて力を合わせながら母校と故郷とそれぞれの地元とを盛り上げていければと思います。

あ、そうそうもう一つのご注文は香川でのあんなことやこんなことやのご紹介でした。毎年このように精力的に総会を開催されている県外玉翠会の皆様と違い、総会に代議員制を採用している関係で、地元在住卒業生の全員が集う機会は10年に一度の母校創立記念パーティだけでした。まあ地元では別に改まって集らんでも人混みで石を投げたらタカコーOBにあたるやけんと考えておったんですが、よく考えたら10年という長い期間では、卒業して新しく入ってくる若手会員も、お隠れあそばす大先輩方も、結構な人数にのぼります。ここは2、3年に一度くらいで、年賀状代わりに「まだまだ元気でやってまっせ」ぐらいの寄り合いがあっても良いのかなと考えまして、とりあえず昨年に中央公園の芝生の上で約千名弱の先輩後輩方と『2千円で生ビール飲み放題の大宴会』をやりました。結果、参加者の平均年齢が還暦に近い57才だったにもかかわらず、お一人あたり通常のビアガーデンの1.8倍の量のビールをたいらげております。なんなんだよこいつら、もといこのタカコーOBのお元気さは素晴らしい(笑)。また次回を考えておりますので、よかったです皆さんも一緒に『一合まいたVS阿波踊り』とかやっちゃいませんか?いまや世界に冠たる阿波踊り、どうみてもうちらが負けると思うんですが。(笑)

**タカコーに通った人たち  
ちよこっと集まってみんないね?**  
**高松のど真ん中で**  
その第一弾 **中央公園でビアガーデン**  
することになりましたっ。  
校内ではお酒飲んだらイカン(笑)、かといって近くにきて一な場所がなかったのでもみんな来てみんな楽しめませんか? おつても高松生のときの顔でいけんわらんか(汗) =  
**雨が降ったらごめん!!**  
全催 香川県立 高松市 香田3-1-1  
高松高等学校 **玉翠会**  
開催日時 2017年5月27日(土)  
16時00分~18時00分  
開催場所 高松市中央公園芝生広場にて立食ビアガーデン  
雨天時→サンポート大型テント広場に会場変更  
雨天時の場所変更の際のお知らせは玉翠会ホームページにて行います  
生ビール(アサヒ・麒麟・サッポロ・サントリー)とジュース類  
**¥2,000-飲み放題** (完全個別チケット制席は別途料金発生)  
香川県立高松高等学校 info@gyokusui.org  
**玉翠会** www.gyokusui.org  
お問い合わせ

## 徳島玉翠会総会に参加して

高松高等学校寄稿

香川県立高松高等学校 教諭（教務主任） 川田 倫寛

28年度、29年度と2年連続で徳島玉翠会総会にご招待いただきありがとうございました。2年前に本校の教務主任を仰せつかり、初めて校長のお供で玉翠会の支部総会に参加することになりました。私は高高卒ではありませんので（三本松高校卒です）、私一人が玉翠会会員でない場所での居心地の悪さを少々心配していましたが、いざ会が始まると、全く堅苦しきのない、終始笑いの絶えない和やかな雰囲気になんか不安もあつという間に消えました。徳大の近藤先生の肺がん治療に関するご講演は、喫煙者である私にとっては大変興味深く、かつ医学の進歩に大いに勇気づけられました。懇親会での「徳島クイズ」（なんと優勝しました！）などの趣向を凝らした催しは、立場を忘れて純粋に楽しませていただきました。また出席者の方々や事務局の方々からも笑顔でいろいろとお声をかけていただき、本当に楽しい時間を過ごすことができました。

あまりの居心地の良さに、翌年（29年度）には、支部総会へのお供分担を決める際に、「ぜひ今年も徳島に！」と立候補させていただきました。今年の特別講演の講師は中原住職ご夫妻でしたが、まるで夫婦漫才を見ているかのようなテンポのよい掛け合いに、時間を忘れてグイグイ引き込まれました。仏様の教えを幅広い年代にわかりやすく伝えようと取り組まれている、バンド演奏や筆文字アートなどの斬新な試みにも感銘を受けました。また懇親会での自己紹介の際に、私が延べ13年間顧問を務めていましたヨット部の女子チームが、前年の全国高校総体（インターハイ）で優勝したとの報告をさせていただきました。第6レースを終えた時点で2位につけ、最終の第7レースを断トツの1位でゴールし、全国屈指の強豪校に大逆転優勝！・・・その喜びや感激を短い時間ではうまく伝えられませんでした。出席者の方々から盛大な拍手とたくさんのお喜びの言葉をいただきました。本当にありがとうございました。

宮仕えの身ですので、来年度（30年度）は自分の身がどうなっているかはわかりませんが、もしまた同じ顔が皆様の前に現れましたら、同じように温かく迎えていただければ幸いです。徳島玉翠会の今後のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。



最終第7レースをトップでゴールし、笑顔でガッツポーズ（四国新聞より）

この優勝は、ボランティアでコーチを務めていただいている多田幸男さん（昭和40年卒、昭和38年度新潟インターハイ男子S級優勝）の熱心なご指導の賜でもあります。



右から森（スキッパー）、石田（クルー）、糸川（サポート）、実にいい子たちです

## 徳島玉翠会総会に寄せて

東海玉翠会寄稿

東海玉翠会事務局長 菅野 正朗（昭和50年卒）

徳島玉翠会第25回総会の開催を心よりお慶び申し上げます。

総会を企画・運営される幹事を始め、関係者の皆様のご尽力に深く敬意を表します。

私は昨年初めて貴会総会に出席させていただきました。これまでも何度か機会があったのですが、かつては日曜日開催がネックとなりお伺いすることができませんでした。貴会総会への出席により全支部の総会出席を成し遂げることができました。

東京や関西は学年幹事団が中心となって企画・運営し、参加者も多い大規模な総会ですが、徳島、岡山そして東海は総会規模も同じくらいで、和気あいあいとした感じも同じでホッとしました。違いをあげるとすると、徳島・岡山は総会前に記念講演が行われることでしょうか。普段の生活では得られない貴重な経験だと感じました。医学部出身者が多く、卒業後そのまま地域に根を生やした会員が多いという両支部の特色が現れていると思います。

対して東海は、就職や結婚を機会に東海地区に居住することになった会員が中心で、トヨタ自動車を筆頭とした「ものづくり」が盛んな地域の製造業に関わる会員が比較的多いということでしょうか。そういった会員は当会に永くとどまってもらえるのですが、母校から当地域の大学への進学者が少なく、転勤で当地域に転入した会員もいることから、転入者の情報入手が困難なことや会員数の減少が当会の課題となっています。今後は、東京や関西のように、ホームページの開設などITを活用して、情報の発信や卒業生への呼びかけも必要になると感じています。

徳島・岡山・東海のコンパクトな三支部が、いろいろな形で情報交換し連携して、それぞれ継続・発展していくことができれば幸いです。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



東海玉翠会 第11回総会 2017年5月20日（土）

## 遅咲きの徳島市体験

関西玉翠会寄稿

関西玉翠会常任幹事 國友 美信（昭和49年卒）

徳島玉翠会総会に参加してから早や一年。関西や東京玉翠会とは趣も異なり、出席されている方々すべてが旧知の仲らしく和やかな空気の中で中原住職ご夫妻の斬新なスタイルの法話や、全員での1分間（阿波時間の？）スピーチ。近況やエピソードに笑ったり感動したり。なにより驚いたのは大先輩の皆さまの日常がとても活動的で若々しいことでした。あいにくと京都への帰りのバスの時刻が早めのため、二次会に後ろ髪を引かれる思いで、小雨の中を事務局の方に途中までエスコートしていただき、四十余年を経ても綻びない絆を感じながら車上の者となりました。

閑話休題、私は還暦を過ぎるまで“徳島市”は通過することはあっても、その地を踏んだ記憶がなかったのです。高松から京都の自宅へ帰る途上、阿讃の国境も最後となる南唱谷トンネルを抜ける瞬間に目に飛び込んでくる広い空の下に広がるのびやかな徳島の平野。

一昨年の春に、ようよう徳島市の地に足を踏み入れる機会を得ました。徳島マラソン出場です。県庁前をスタートして吉野川大橋を渡り、徳島市陸上競技場に帰るまでの42.195kmの道程、4時間にも満たない短い時間でしたが、阿波踊りなどの温かい応援でたっぷりと徳島を満喫できました。もちろん吉野川の堤防から見上げる空の広さは格別で、“徳島市”初体験は少し輝やいたものになりました。

じつはゴール後に眉山に登る予定でした。しかしレースの朝に前泊した松茂町で縁石に乗り上げパンク。ゴール地点からシャトルバスで藍場公園へ運ばれたあと松茂町へ直行して応急タイヤに替えたものの、それでは鳴門大橋や明石海峡大橋は通れません。同じタイヤが見つからず、日没も迫る中タイヤを求めて徳島平野を西に東と走りまわりました。お蔭様で一日にて“徳島市”の土地勘を得たような思いがしました。

話は大きく変わります。関西玉翠会総会は、ギネス登録の東京玉翠会には比べようありませんが、300名ほどが集まるために全員スピーチどころか来賓の方すらお名前紹介に留まっています。総会運営はその年に50才になる年次が担当です。私も13年前に年次幹事の代表を経験しました。直前の数年前まで4～5名しか同期生は総会に現れず人手不足（すなわち緩い結束力）で昭和49年卒が総会の幕を下ろす不名誉を背負うのかと覚悟した矢先に吹いたのです。神風が・・・。

春の選抜高校野球大会21世紀枠出場決定。高野連から送られてきた応援規則集を首っ引きで、宿舎への差し入や当日の入場券配布の準備、さらには地元OB会としてNHK取材まで受ける始末。それがきっかけで同期生が無慮30余名ほど集まり、その勢いで総会も乗り切り昭和50年卒にタスキを渡すことができました。今もどの年次も同じように、ほとんど人が集まらない状態から「わが年次で途切らせるわけには」との意気込みで集まり総会を盛り上げて、それをきっかけに第二の同期生ライフが発展しています。

そろそろ2020年を担当する昭和最後の卒業生になる64年卒を探さなければいけない頃になりました。

徳島のタイヤのようにきっと大丈夫でしょう。



2005年3月  
甲子園球場 北側 阪神高速  
3号神戸線ガード下にての  
チケット配り

## もう一つの視点で観てみると

徳島玉翠会員寄稿

中原 大道(平成6年卒)

私は高松のお寺の末っ子にして長男、つまり「跡取りのための子」として生まれ育ってきました。家内は徳島のお寺の一人娘。

お寺の跡取り同士の結婚。親に反対されるかと思いきや、親のほうから結婚話を持ち出し、とんとん拍子に話は進み結婚することになったのです。一応世の中の慣例として中原姓となり高松に嫁に来たという形での結婚生活が始まりました。その私たち夫婦がなぜ徳島に住んでいるのか？世にも恐ろしい物語がここからはじまるのです。

結婚当初、我が家には〈父と母と二人の姉〉がいました。しかしこれが家内の視点から見ると〈舅と姑と二人の小姑〉となります。そうすると、私にとってはなんでもない両親や姉の言葉でも家内には嫁いびりの言葉となるのです。

「姑の言葉」「小姑の言葉」というと、いやらしい悪意のある言葉のようなイメージがありませんか？人間には自分の心のフィルターを通してみるという性質がありますから、私にとって何でもない言葉も家内は違った受け止め方となるわけです。

その家内のストレスが私にぶつかるようになりました。そして家族との間に挟まれた私もストレスがたまる。私も家内も大きなストレスを抱えた苦しい生活が続いていた中、とうとう家内が徳島の実家に帰ってしまったのです。これは悩みました、離婚も考えました、家族も大事、お寺も大事、かといって夫婦間は別に仲が悪いわけじゃない。数日後、私は実家と縁を切ることになってもよいという覚悟で後を追ひ、鬱屈とした気持ちを抱えて徳島に移り住むことにしました。

そこから徳島での生活が始まりました。最初は本当につらかったです。しかし、当時時間が解決してくれると周りの先輩からも言われた通り、今では私は高松の実家のお寺の住職となり、家内も強引に私の仕事を奪ってまで高松のお寺の手伝いもしてくれています。

さて、徳島に来てから、今でも私がよく口にする言葉があります。「空がひろいなあ」「ええ光景やなあ」という言葉。高松の街中近いところで生まれ育った私には徳島の風景はとっても広大に見えます。しかし、ここで生まれ育った人にとっては当たり前前の風景、徳島で生まれ育った家内も私がそう言うのを聞いて「そういえばいい風景だなあ」と思うようになったそうです。逆に家内は「高松って都会でええなあ」と思うそうです。お店も多いし、町の人もお洒落。高松の仕事に行って帰りに都会の空気の中で買い物して帰るのが楽しみなんだそうです。高松のお寺の仕事を強引に手伝う理由はここにあるのでしょうか。人間は当たり前の中にあるしあわせに気づけないもの。失ったりして視点が変わると初めて気づくものです。それを強く実感した出来事がありました。

2016年の夏、椎間板ヘルニアを患って入院することになりました。いつもより坐骨神経痛がつらいと感じていたある日、突然足の先までの泣き叫ぶほどの激痛が走り、そのまま倒れて立ち上がることもできなくなってしまったのです。そのまま救急車で病院に搬送されたものの、痛みは変わらず寝たきり生活です。どうにか痛みのない姿勢を探すけど見つからない…、「楽な姿勢で寝られるって幸せなことなんやなあ。」そんな思いが頭をよぎりました。

そんな状態なので、ご飯を食べるのも寝たまんま。こぼさないように頭だけ起こして苦しい姿勢でかきこむだけ。そんな寝たままの食生活が数日続いた後、ようやくベッドの上に座ってご飯を食べられるようになりました。机の上に運ばれてきた食事を見て「うわあ！きれい！」と感激しました。といっても実際は質素な病院食です。それでも数日ぶりに盛り付けを見て食べられる食事は美しく、おいしく、ゆっくりかみしめながらよ〜く味わって食べました。

この2週間あまりの入院期間中、普段気づけない幸せやありがたさに気づくことができました。そして、寝たきりや介護される生活、車いす生活などいろんな体験もさせていただきました。考えようによっては仕事や家庭など日常生活を離れてたくさん得るものがあったこの2週間余りは“修行生活”のようなものです。

物事の見方というのは一方向からだけではありません。この年、私は本厄でしたが、厄年という通りえらい目にあったという見方もできますし、多くの得るものがあった良い経験だったという見方もできます。同じ出来事であっても、見る角度によって良いこととも悪いこととも受け止めることができます。

実はこの椎間板ヘルニアで入院しても、なかなか日常生活に復帰できるほど回復せず、入院中の病院で手術を受けるにしても数か月先になると途方にくれている中、相談したのが徳島玉翠会で出会った西良先生と長町先生でした。そしてお二人のおかげで思いがけず、早急に最先端の手術を受け回復することができました。

私が徳島に移り住んできたのは人生最大ともいえるぐらいつらい出来事でした。しかしそのおかげで視界も広くなり、音楽とも出会い、徳島玉翠会の皆さんにも出会い今に至っています。今では徳島にきてよかったと感謝せざるを得ないほどの毎日です。

最後に前向きに物事を見ることができる言葉を紹介します。それは《だからこそ》。「…だったら」「…であれば」と悔やみ言葉ばかり口にするより、《だからこそ》と喜びに満ちた日々を送りたいものですね。



第24回徳島玉翠会懇親会の特別講演で法話する中原ご夫妻

(平成29年6月24日)

## はじめまして

徳島玉翠会員寄稿

宮城 麻友（平成13年卒）

はじめまして。宮城（上枝）麻友と申します。この度、会誌上で皆様にご挨拶できる機会を頂戴しましたので、自己紹介も兼ねて近況報告をさせていただきます。

父が転勤族だったので幼少時代は広島・福岡で過ごしました。中学3年の春に高松に引っ越してきて、両親の出身校でもある高松高校に進学しました。高松高校での思い出といえば何とんでも美術部での活動です。自由な活動スタイルだったので、気の向くままキャンパスに向かい、そのうち友達とおしゃべりに夢中になることもありました。文化祭では部員の共同作品として教室の天井まで届く高さのバベルの塔を製作し、個人では大好きな鉛筆画を製作しました。美術室において、窓から見える空、放課後独特の雰囲気、どれもが懐かしいです。その頃の友達とは20年近くたった今でも交流を続けています。

岡山大学歯学部に入學し、大学院卒業後も医員として大学病院で働いていましたが、当時の上司が徳島大学の教授になったことがきっかけで2014年に徳島に赴任してきました。現在は、助教として入れ歯やブリッジ、インプラント、顎関節症、金属アレルギーをメインにした診療を行いながら、臨床実習での指導や授業、研究と、忙しいながらもやりがいのある日々を過ごしています。

徳島大学医学部保健学科の香川典子教授は両親の同級生で、徳島に赴任してきてすぐに徳島玉翠会へお声がけいただきました。学会などでなかなか参加できていなかったのですが、2017年6月に総会に初めて参加しました。皆さんに歓迎していただき、とても嬉しかったです。年齢層が厚く、1分間の近況報告ではどの方も時間が足りないばかりに活き活きとお話をされて、当日の出席者の中では一番若いはずの私が逆にパワーをいただきました。次回の総会も楽しみにしています。

徳島に住み、好きな仕事を続け、結婚して、高松高校というご縁で諸先輩方とつながりを持っていくのが、一番充実していると感じています。今後ともどうぞよろしく願いいたします。



左から2番目、絵を持っているのが高校1年生の私です。文化祭で製作したバベルの塔の前で。

## 書道部の活動報告

表紙写真への寄稿

香川県立高松高等学校書道部 顧問 山下 俊文

現在、書道部は1年生4人、2年生7人（12月にすでに引退）と少人数ですが、毎年楽しく活動しています。主な活動内容は、文化祭での書作展に向けた作品制作および各種書道展への出品となりますが、最近の書道部の活動は少々様子が変わってきています。

昨今の書道パフォーマンスブームにより、本校書道部もあらゆる場面で書道パフォーマンスを行っております。12月に開催される芸術祭では、第九演奏会の中で「書作演技」として、早くから書道部の活動の一部として認識されておりましたが、ここ5、6年で、この書道パフォーマンスが県内はもとより、全国的にも書道部の活躍の場として広く認められるようになりました。

そんな中、昨年は念願の第10回全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会「書道パフォーマンス甲子園」（8/6に四国中央市で開催）に初出場することができました。全国から105校の応募があり、私たち高松高校も四国ブロック19校の応募の中から4校という非常に厳しい枠を勝ち取り、全国大会への切符を手に入れました。屋島を舞台とした「平家物語の扇の的」を題材として臨んだ大会本番でも、「さすが高松高校！この子たちは違うわ！」と我ながら感心してしまうほどの、初出場の緊張感を全く感じさせない堂々とした演技を披露し、見事7位に輝きました。また、第6回うどん県書道パフォーマンス大会（8/27にサンポート高松で開催）では毎日書道学会賞（県内22校出場中4位相当）をいただきました。

このように、県内の多くの高校が書道パフォーマンスを行うようになり、今では各種イベントなどでパフォーマンスのオファーが殺到するということにもなっております。我々高高書道部も昨年、香川県高等学校総合文化祭の総合開会式でパフォーマンスを披露しました。

これまでの古典の臨書を中心とした作品制作から、多くの観客を前にパフォーマンスとして見せることが書道部の活動の大半を占めるようになりつつある現状に、書道教員としては一抹の不安を感じております。しかしながら、書道離れの進む中、一方ではこうしたパフォーマンス人気が高まるということに、「これも現代の若者の気質かな」と感じながら日々指導に当たっております。

これからも、母校高松高校の活躍を徳島の皆様方にもお届けできるように、一層精進を重ねて参りますので、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第6回うどん県書道パフォーマンス大会（平成29年8月27日 於サンポート高松）

写真は丸亀市綾歌町在住の写真愛好家 河野竹克氏のご好意により掲載しました

## 東京玉翠会に参加して

東京玉翠会出席報告

徳島玉翠会会長 長尾 哲見（昭和44年卒）

平成29年7月8日午後4時から品川のグランドプリンスホテル新高輪飛天の間で毎年千人を超える日本一の東京玉翠会第35回総会が開催され、玉翠会本部からは榎田会長、母校からは溝渕校長や他の支部の代表らと共に参加しました。

今年のテーマは「まんでがん、参・集・互・会（さんじゅうごかい）～今日はさぬき弁しゃべりまい～」との事で、さぬき弁で語ろうと言う企画で東京では普段さぬき弁でしゃべる事がない中で会場ではさぬき弁が飛び交い、故郷の言葉の持つ温かみを感じながらの総会でした。

東京支部の渡辺会長、香川県の真鍋元知事や西原香川県副知事らともお会いし楽しい懇談が出来ました。

今回は大抽選会もあり、また、恒例の応援団の素晴らしいエールで盛り上がり、最後は校歌に続いて「ふるさと」を合唱して故郷を偲びました。

また、ロビーでは有楽町の東京交通会館にある徳島・香川の物産を販売するアンテナショップのトモニ市場の物産が販売されており、嬉しく感じました。

二次会は44同期の仲間与新橋駅ビルの居酒屋で近況を語り合い、旧交を温め、楽しいひと時を過ごしました。



左上：第35回総会の担当学年幹事（平成5年卒）が壇上に。

右上：東京玉翠会会長 渡辺 修様（昭和34年卒）と。

左下：香川県副知事 西原 義一様（昭和49年卒）と。

右下：昭和44年卒の同級生に囲まれて。

## 関西玉翠会に参加して

関西玉翠会出席報告

徳島玉翠会副会長 坂口 英則（昭和48年卒）

平成29年10月21日（土）「ザ リッツカールトン大阪」で開催された第24回関西玉翠会総会に徳島玉翠会長尾会長の代理として参加してまいりました。

台風21号の接近でどうなることかいな、と心配しながら車上の人となりましたが、無事大阪にも着き、梅田地下街のお陰で雨にも濡れずにホテルまで行くことができました。

開会后、亡くなられた会員に対する黙禱。関西玉翠会樋口会長からは、今回の幹事は昭和61年の卒業生が担当し、一生懸命に頑張り久しぶりに出席者が300人を越えたこと等の話がありました。

玉翠会榎田会長からは、会費の問題や若い人の参加が少ないことなど様々な問題はあるがそれらをクリアして続けていくことが使命と考え尽力したいという話を頂きました。

溝渕校長の乾杯の音頭で懇親会が始まりましたが、その内容の濃いこと。担当幹事は50歳になる年、一生に一度しか担当できない事もあり、力の入れ用は半端ないものがありました。

まずは「キラビト」の選出、現役のハイスクールキラビト、キャンパス、フレッシュマン、ミドル、アクティブ、シニアのカテゴリーでキラビトを選出し、現地までインタビューに赴き、その映像も撮るという凝りよう。（詳しくは2017年関西玉翠会総会誌に掲載）

お次はブラスバンド、昔取った杵柄でOBもOGも乗り乗りの演奏を聴かせて頂きました。練習も大変だったことと拝察いたします。

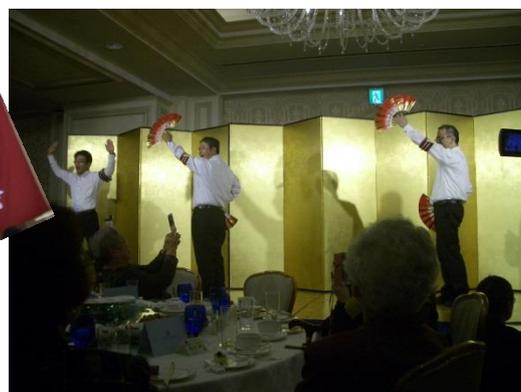
最後は恒例となっている応援団、数えてみると13人ものOBが様々なパターンの応援を繰り広げ、会場を大いに盛り上げてくれました。

この応援の流れから高中校歌、県女校歌、高高校歌と進み、最後は次年度幹事への引き継ぎで会が閉じられました。

関西玉翠会は5千名弱の会員がいるそうで、担当する幹事も数十名、そのパワーを見せつけられた一日でした。



関西玉翠会 ブラスバンド部



関西玉翠会 応援団

## 岡山玉翠会総会に参加して

岡山玉翠会出席報告

徳島玉翠会幹事 岡澤 恵美子（昭和35年卒）

平成29年11月11日（土）、岡山玉翠会第39回総会・懇親会に出席しました。

翌日が岡山マラソンということで、ホテルが取れずキャンセル待ちのぎりぎりセーフでした。来年も同じ岡山マラソンの前日とか・・・ホテルに苦勞します。

総会は本部長、副会長、関西支部会長、それと徳島支部からの私を含め9名を加えると総勢約60名のとても盛大な会でした。

岡山玉翠会は会費納入者79名、総会出席者49名で、近年数名ずつ増加をしているようです。（徳島が減少気味で残念ですが…）

会員増加に伴い2,000円の会費を1,000円に値下げしたそうです。徳島支部も会員増を努力しなければならないと思いました。（岡山はとても積極的に声かけしているそうです）

挨拶では、第24回徳島玉翠会総会・懇親会にご出席いただいた多田会長様にお礼を申し上げて、少し徳島支部懇親会の内容についてご報告しました。

法話だけでなく、各種デザイン、音楽や筆文字アートなど通じて仏教を伝えている中原大道・祥子ご夫妻僧侶のパフォーマンス。キーボードの演奏で奥様がラップでお経を歌って大変盛り上がったことや、これならお経も覚えやすいナーと申し上げましたところ大反響でした。

出席者の最高齢昭和28年卒83才の真光寺住職の吉田さんからも親しく声をかけられました。最近では音楽でお経を広めているということなど・・・

懇親会でクイズ大会や、1分間スピーチがあるので「徳島と同じですね。」と申し上げると「徳島から盗んできた」と副会長の仁木さんがバラしてくれました。

最後は仁木さんをはじめ大学3年の現役イケメンを含む4名の応援団が前に出て応援歌・校歌を歌いとても盛り上がりました。

トリは徳島支部第20回記念総会の時、高松から来ていただいた混声合唱団「ア・カンターレ高松」の指揮者櫃本ご夫妻、団員の小野喜美子さんの指導で「ふるさと」を大合唱しました。

二次会三次会とご案内いただきホテル到着は午前さまでした。楽しかったです。



岡山玉翠会 総会 平成29年11月11日 於アークホテル岡山

## 東海玉翠会総会に参加して

東海玉翠会出席報告

徳島玉翠会副会長 坂口 英則（昭和48年卒）

平成29年5月20日（土）、名古屋駅に近い名鉄グランドホテルで開催された第11回東海玉翠会総会に徳島玉翠会を代表して2回目の出席をさせていただきました。

来賓の方4名、会員の方39名と出席者は合計43名。最近、徳島玉翠会の参加者が減っているため、これは負けたかなあ。

まずは入倉会長のご挨拶から、本日名古屋は5月にも関わらず31度の真夏日でとっても暑い中出席への感謝の言葉。東海玉翠会は魅力がない地域（会長談）にも関わらず400名の会員がおり、想像以上に多いこと。加えて本日はNHKの「ブラタモリ」で名古屋が取り上げられる事などが紹介されました。

その後来賓代表として高松高校校長の溝渕様、玉翠会会長の榎田様から挨拶がありました。

溝渕校長先生からは、高松高校は明治26年開校、昭和23年新学制になって今年が70周年に当たること、伝統の体育祭が新装なった屋島陸上競技場（レクザムスタジアム）に帰って来たことなどの話がありました。

榎田会長からは、玉翠会の本部以外は総会に必ず懇親会がくっついているが、本部はこの10年間で1回しか行っていなかったため、一週間後の5月27日初めての試みとして中央公園で「オープン・ビアガーデン」を開催することにしたこと、財政面厳しき折、会費を千円から2千円にし、ネットでも入金できるようにしたことなどが紹介されました。

乾杯の後、関西玉翠会の白川常任幹事様、それと私が来賓挨拶を行いました。どこの玉翠会も若い人の同窓会への興味の無さから会員の減少という課題に直面しており、総会への出席者も伸び悩んでいる現実が窺えます。

自分の若い頃を振り返ってみても、昔はあであった、こうだったなどと話すより、将来はああしたい、こうしたいなどと考えていたものです。ですから同窓会員の減少はある意味仕方ないのかもしれない。若者は前を見て進み、年配者は立ち止まって後ろを振り返るものです。

メインイベントは、今年東海玉翠会総会は11回目で、新たな10年に向けて踏み出したことを記念し、過去10回に撮影された写真を編集したムービーが音楽に乗って流されました。素晴らしい出来で、最初から事務局長をされている菅野様のご苦勞が忍ばれました。

今回の総会にも、同級生かつ同じ陸上部であったT君も出席しており、翌日は事前にセッティングをお願いしていたゴルフに行ってきました（何しに行ったんや？）。メンバーはT君の行きつけの飲み屋のマスターと会社の元同僚。半田市内のゴルフ場でしたが、とにかく暑い暑くないの、これで5月かい、と文句を言いたくなるような天気でした。

まあ、スコアは言わぬが花でしょう。とにかく、楽しい東海玉翠会出席となった次第でありました。



東海玉翠会 第11回総会 2017年5月20日（土）

# 徳島玉翠会 会則

## 第 1 章 総 則

(名称)

第 1 条 本会は徳島玉翠会と称する。

(目的)

第 2 条 本会は、会員の相互の連絡と親睦を図る。

第 2 条 本会は玉翠会の徳島地区における支部として、本部のもとに母校の発展を期する。

(事業)

第 3 条 本会は前条の目的を達する為に次の事業を行う。

一 会員相互および母校の発展に寄与する。

二 親睦を図る為に総会などを開催し、会報や会員名簿を発行する。

三 その他必要と認められる事業。

(事務局)

第 4 条 本会の事務局を徳島県内に置く。

## 第 2 章 会 員

(会員)

第 5 条 本会の会員は、次の資格の一つを備える者とする。

一 徳島県に在住し、香川県立高松中学校、同高松高等女学校、同旧高松高等学校、同旧高松女子高等学校および同高松高等学校（以上5校を「母校」という。）の卒業生（これに準ずる者を含む。以下「通常会員」という。）

二 その他、本会の役員会が入会を認める者（以下「特別会員」という。）

(部会の設置)

第 6 条 第 3 条の事業を行うため部会を設置することができる。

第 2 部会の運営は所属会員の協議による。

(会費)

第 7 条 会員は年会費を納めることとする。

第 2 前項の会費の額は、役員会で定める。

## 第 3 章 役 員

(役員)

第 8 条 本会に次の役員を置く。

一 会長 1 名

二 副会長 4 名

三 役員として、事務局長 1 名、会計 1 名、監事 1 名、幹事若干名、その他会長が必要と認められたものを置く。

2 本会に、役員協議を経て名誉会長、名誉会員、顧問を置くことができる。

(役員選出)

第 9 条 役員選出は次のとおりとする。

一 会長及び副会長は、役員会の推薦に基づき総会で決定する。

二 その他役員は会長が推薦して役員会で決定する。

(任期)

第 10 条 会長及び副会長の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

2 役員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

(役員職務)

第 11 条 役員職務は次のとおりとする。

一 会長は本会を代表し、会務を統率する。

二 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時は会長の職務を代行する。

三 事務局長は、会長の指示に従い会務を遂行する。

四 会計は、会務に必要な収支を管理し総会で報告する。

五 監事は本会の会計を監査する。

## 第 4 章 会 議

(総会)

第 12 条 総会は会長の招集により、毎年 1 回開催する。

2 総会においては次の行事を行う。

一 本会の運営に関する協議決定と会務及び会計報告

二 会員の親睦を図る行事

三 その他、必要な事業

(役員会)

第 13 条 役員会は会長の招集により、適当な時期に開催する。

(議決)

第 14 条 総会及び役員会の議決は、出席者の過半数をもってこれを行う。議長は会長が行い、副会長が代行することができる。可否同数の場合は議長の決するところによる。

(会計)

第 15 条 本会の会計は、年会費および寄付金その他の収入による。

(会計年度)

第 16 条 本会の会計年度は、毎年 4 月 1 日にはじまり翌年 3 月末に終わる。

## 第 5 章 会 則 の 改 正

第 17 条 この会則の改正は、役員会の議を経て総会で決定する。

## 第 6 章 細 則

第 18 条 この規則施行に関し、必要な細則は役員会の議を経て別に定める。

付 則

(会則の最終改正) この改正規則は、平成 21 年 1 月 10 日から施行する。

## 2017年度会費納入者

(平成30年3月31日現在) (敬称略)

(昭和20④年卒) 岩井 武子 (昭和21年卒) 森 弥栄子、岸田 雅子 (昭和22年卒) 高木 一孝  
(昭和23年卒) 田尾 敏子 (昭和26年卒) 松浦 健司、内田 英明 (昭和27年卒) 大池 恭子  
(昭和28年卒) 香川 信子 (昭和29年卒) 羽坂 翠 (昭和30年卒) 直原 弘子  
(昭和31年卒) 佐々木 敬子 (昭和33年卒) 渡邊 謙、矢川 桂子、佐野 紀子  
(昭和34年卒) 上田 和子、渡邊恵子 (昭和35年卒) 岡澤 恵美子、宮本 仁美、森 順子  
(昭和36年卒) 青木 博美、入谷 忠光 (昭和37年卒) 鈴木 良子、圓藤 寿穂、圓藤 とよ子、塩田 洋  
(昭和38年卒) 香川 征、元木 碎香 (昭和39年卒) 藤原 和子 (昭和40年卒) 滝 由喜子  
(昭和41年卒) 有井 静代、山本 圭子 (昭和42年卒) 中村 芳正、荒瀬 友子、阿部 成夫、  
村上 由里子 (昭和43年卒) 牛川 務、七條 政志、澤 祥二郎、森江 恵美子  
(昭和44年卒) 長尾 哲見、渡部 莊三、秋本 まり子、武市 志津子  
(昭和45年卒) 米沢 基子 (昭和46年卒) 後藤田 眞理子 (昭和47年卒) 香川 典子、駒木 典子  
(昭和48年卒) 坂東 智子、藤原 祐子、河野 順、坂口 英則、石谷 保夫  
(昭和49年卒) 邊見 千香、東 雅之 (昭和50年卒) 名尾 和広、猪本 康代  
(昭和51年卒) 伊賀 弘起、丸浦 世造 (昭和52年卒) 森 康代、阿川 昌仁  
(昭和53年卒) 後藤 葉子、塩見 一義 (昭和54年卒) 細井 恵美子、大西 好尚  
(昭和55年卒) 長町 顕弘、安宅 比呂美 (昭和57年卒) 六車 直樹  
(昭和58年卒) 山本 雅子、木村 建彦、佐々木 園子、加藤 弘道 (昭和59年卒) 久保 千枝  
(昭和60年卒) 松原 淳 (昭和61年卒) 川染 秀樹 (昭和63年卒) 山本 岐香  
(平成6年卒) 中原 大道 (平成11年卒) 宮城 麻友 (平成14年卒) 三井 康裕  
(平成22年卒) 亀井 千晶 (平成24年卒) 齋藤 尚子

会費を納入していただきありがとうございました

## 北 條 病 院

病院長 北條文彦(昭和48年卒)

内科/呼吸器科/循環器科/消化器科/胃腸科/  
小児科/脳神経外科/整形外科/リハビリテー  
ション科

診療時間：月～土 9:00～12:00

13:00～18:30

(休診日：日・祝)

〒778-0002 徳島県三好市池田町マチ 2526-7

電話：0883-72-0007 FAX:0883-72-5682

Mail: ho.jyo-hosup@galaxy.ocn.ne.jp

平成2年の開院以来、徳島県西部の病院として地域に密着した医療に取り組んで参りました。当院は、急性期を終えた後の医療と看護が心配な方のための医療保険と介護保険適応の療養型病床群です。在宅の患者さまの為に、居宅介護支援事業所・訪問診療・デイケア等も併設し、より質の高い医療・看護・介護のサービス提供を行い、地域のニーズに応え地域の皆さまに愛される病院をめざしております。

## 編集後記～表紙に関する追記～

今回の本誌表紙、およびP 17添付の高高書道ガールの写真を提供いただいたのは、丸亀竹うちわの活動を通じて、讃岐伝統文化の技術の継承と発展に寄与している「うちわマイスター」河野竹克氏（丸亀市在）です。彼は徳島市の藍染め講座で基礎を学び、「阿波藍染めによる丸亀うちわ」を制作しております。下記作品は、表紙の高高書道ガール写真を参考に制作した、型彫り藍染め作品と2016年玉藻城披雲閣の「5KAN」展に出品したサンポートトリアスロンのスイマーを型染めした竹うちわです。河野様のご好意に厚く御礼申し上げます。

さらに、今回の本誌表紙の題字は、高松高等学校書道部顧問の山下俊文先生（活動報告p 17）にお願いしました。立派な書をお送りいただき、感激いたしました。

徳島玉翠会第25回総会誌を発行するにあたり、貴重なご寄稿をいただきました本部 榎田会長・佐藤副会長、東海支部 菅野事務局長、関西支部 國友常任幹事、高松高校 川田先生、山下先生、本会中原様、宮城様のご協力に深く感謝申し上げます。

また、今回もご賛助頂きました広告主の皆様（p 1ご芳名掲載）のお蔭で会誌を発行できました事、厚く御礼申し上げます。

最後に松下印刷様、今年も大変お世話になりました。

6月23日土曜日、総会・懇親会でお会いしましょう。

2018年4月吉日

事務局編集担当 邊見 千香(昭和49年卒)



**KOTAKE**

匠の心、未来へ

**小竹興業株式会社**

〒760-0066 高松市福岡町4丁目28番30号  
TEL (087) 851-9096 FAX (087) 822-6975  
<http://www.kotakekogyo.com/>

小児科・内科・循環器科・心療内科・神経内科・精神科  
精神科デイケア

※臨床心理士によるカウンセリング、精神保健福祉士による、個別相談随時行っています。(要予約)



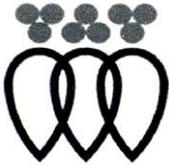
医療法人 医学生会

# 宮内クリニック

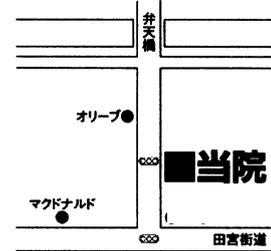
徳島市名東町2丁目660-1 ☎ (088) 633-5535

宮内 吉男 宮内 和瑞子(昭和48年卒)

## いしたに耳鼻咽喉科クリニック



院長：石谷保夫  
(昭和48年卒)



〒770-0006

徳島市北矢三町3丁目2-53

電話：088-633-8741

FAX：088-633-8715

| 診療時間         | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土          |
|--------------|---|---|---|---|---|------------|
| 午前9:00~12:30 | ○ | ○ | ○ | / | ○ | ○          |
| 午後3:00~6:00  | ○ | ○ | ○ | / | ○ | 5:00<br>まで |

休診日/木曜日・日曜日・祝日



## いのもと 眼科 内科

院長：猪本享司(内科)・副院長：猪本(旧姓横井)康代(眼科) (昭和50年卒)

〒771-0204

徳島県板野郡北島町鯛浜字かや 122-1

電話：088-698-8887

FAX：088-698-7110

<http://www.inomoto.jp>



- ・ 廃プラのマテリアルリサイクル ・ 廃プラ・木屑等の固形燃料化
- ・ 木屑・廃プラ・汚泥等のサーマル焼却 ・ 砕石及び再生砕石の製造販売

## 旭 鋳 石 株 式 会 社

代表取締役 漆原 本晴 (昭和 43 年卒)

〒771-4265 徳島市飯谷町枇杷の久保 13 番地 4  
TEL 088-645-0169 (代表) 088-645-0373 (注文受付)  
FAX 088-645-1575

## 技術士事務所 環境デザイン研究所

代表 牛 川 務 (S43卒、技術士：環境部門)



環境経営・公害防止コンサルティング

徳島事務所 〒772-0017 徳島県鳴門市撫養町立岩六枚33  
TEL/FAX (088) 685-6849



香川研究所 〒761-0701 香川県木田郡三木町池戸3012-7  
TEL (087) 898-5250 FAX (087) 813-5219



## 株式会社アルファード

- ・ 建売用地
- ・ 宅地分譲用地
- ・ 中古物件

土地のことならお任せください!!  
物件募集しております!ご気軽  
に  
お電話ください!

〒761-8071 香川県高松市伏石町 2174 番 18  
TEL: (087) 815-0777 FAX: (087) 815-0776



## 三好市地域交流拠点施設「真鍋屋」を指定管理者として

6月1日運営オープンします！！



地域交流拠点施設（イメージ）

\*6月2日（土）には、JAZ フェスティバルを開催予定

### 地域交流拠点施設とは

三好市では「生涯活躍のまち構想」を推進し、知識や技能を有する経験豊富なシニア層を中心に移住者を受け入れています。地域交流拠点施設は移住者をサポートするインキュベーションセンターやレンタルオフィス、お試し住宅などの機能と、カフェ・レストランやシェアオフィス、会議室など地域の方も気軽に利用できる機能があり、移住者と地域住民の交流の中心になる施設です。

その他にも「生涯活躍のまちづくり」を目指して、

- UIJ ターンの相談受付
- UIJ ターン者のスキルを活かした職業紹介・斡旋
- UIJ ターンに際しての起業・創業支援
- 空き家・空き店舗再生活用の推進
- 健康増進プログラムの実施運営
- シニア・子育て世帯への暮らしサービス支援
- UIJ ターン者やシニア層の活躍の場の創造

等々の「地域課題解決事業」をおこないます。

一般社団法人三好みらい創造推進協議会

代表理事 丸浦 世造

正会員 丸浦工業株式会社

代表取締役 丸浦 世造

(51年卒)